

 令和5年度

学事報告



令和6年3月18日（月）
佐久市立浅間中学校

※個人名は公表しません。



佐久市立浅間中学校

〒 385-0022 長野県佐久市岩村田 1 3 6 1 番
位置 北緯 36° 16' 7" 東経 138° 28' 8"
海拔 696.7m
TEL 0267-67-2410
FAX 0267-67-2411

校章の由来

校章は、昭和 37 年 1 月 15 日、浅間中学校実質統合を前にして、浅間中学校を象徴する品位を持ち、地方色豊かな図案を一般より懸賞募集した。

応募作品について、職員及び PTA 役員は審査の結果、左記の図案を校章として採用したものである。

当選者 長野市淀ヶ橋 996 番地 小岩井 潔 氏

その意味するものは、蓼科・八ヶ岳・浅間の山々に取り囲まれたわが浅間中学校に学ぶ子どもたちが、希望に燃え、互いに励まし、情操高く知を深くして、やがて巣立ちゆくその姿を象徴したものである。

浅間中学校校歌

佐藤 春夫 詩

池内 友次郎 曲

一
見ずや立科八ヶ岳浅間

湯川の流れ清らかに

うつくしいかな郷土の

山河に我ら恥じざらん

佐久市浅間中学生

我らぞ市の希望なる

二
さらば互いにはげまして

情操高く知は深く

日本の明日をになう子の

すなおな笑顔強い意志

佐久市浅間中学生

我らぞ国の希望なる

校歌の由来

文豪佐藤春夫先生は、戦時中当佐久市に滞在しておられ、当市の事情を詳しく研究され資料にされた。昭和 36 年にこの縁故深い先生に作詞を依頼し、作曲は佐藤先生の友人池内友次郎先生にお願いして制定をみたものである。

令和5年度 浅間中学校の学校目標を具現するためのグランドデザイン

(昨年度実施した学校評価の結果を生かしつつ、本年度の教育活動の重点を示しています)

第4次長野県教育振興基本計画（目指す姿）

「個人と社会のウェルビーイングの実現」

～一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追究できる

「探究県」長野の学び～

佐久市教育大綱（基本理念）

生涯にわたり主体的・創造的に学び、生きる力を育む人づくり、まちづくり

・目指す子ども像 → 自ら考え、夢や志をもって、ともに未来を拓く子ども

・実践プラン（コスモスプラン）→ ～読むこと・書くこと・行うこと～



郷土の山 浅間山 のような

誇り高き 浅間中学生

熱く燃える 浅間中学生

美しき 浅間中学生

多様性を認め合い、思いやり、感謝の気持ちができる生徒

学習・生徒会・部活動に精一杯、全力で取り組める生徒

けじめある行動・元気よくあいさつができる生徒、清掃に打ち込むことのできる生徒

目指す生徒像

学校教育目標

情操高く 知は深く

保護者・地域の願い ～学校評価より～

- ・元気のよい気持ちのよいあいさつのできる生徒
- ・仲間と支え合える、思いやりのある生徒
- ・多様性を生かした活気ある学校生活
- ・個性を尊重した学習や支援の充実
- ・ICT 機器の有効活用による授業づくり
- ・生徒一人ひとりの良さが認められ、力が発揮できる学校生活
- ・生徒会や部活動で仲間とともに心をつなぐ経験

浅間中学生の姿 ～学習評価・学校評価 等より～

- 「できた・できない」だけでなく、自分の学びや学び方のよさに気づきはじめています。
- もっと友達と相談したり、意見を交わしたりする場面が多い授業。
- 生徒会や行事、部活でたくさんの人とかかわることができる。地域の人とも交流を増やしたい。
- けじめのある生活を送っている。生徒会活動や部活動で力を発揮したい。 等

学びづくり

豊かな個性を育むあたたかな関係性

集団づくり

個別最適な学びと、協働的な学びを大切に、主体的・対話的で深い学びの実現をめざします

- 生徒が「自分の学びや学び方のよさに気づく授業」をつくります。

生徒一人ひとりが自分の学びや学び方のよさに気づく学習活動を位置づけます

- ① 生徒が主役となる、生徒自身の「疑問」や「問い」からのスタート
- ② 自分自身や仲間との対話ができる授業展開
- ③ 自分や仲間の考え方のよさを可視化し共有できる場面設定（ICT の活用等を含む）
- ④ 1 時間 1 時間の自分の学びや学び方のよさに気づき、新たな「疑問」や「問い」を見つける振り返り

自分の学び方が発揮できる学習環境を整えます

- ① 生徒がワクワクしながら追究できる教師のかかわり
- ② 個や集団の学習場面で、課題解決に向かうことのできる教材・教具の工夫
- ③ 「わからない」「教えて」をお互いに出し合い、共に解決し合える環境づくり

- 今と将来の生活が充実していくために必要なことを探究できる浅間の時間（総合的な学習の時間）を展開します。

- 生徒の学びと学び方を支えるために ICT 機器、拡大教材、デジ教科書など支援を充実させます。

- 授業改善につながる職員研修に取り組みます。また、授業参観の授業を公開授業として、教職員がお互いに授業を見合い、学び合いながら授業改善を図ります。

【重点】

- (1) 多様性を認め合い、共に支え合いながら自分を尊重した人間関係を構築し、安心・共生の学校づくりをめざします。
- (2) インクルーシブの視点を踏まえた学級づくり、授業づくりにより、どの生徒にも居場所がある活気ある学校生活をめざします。
- (3) 指導とその評価を一体的にとらえた授業づくりをさらに進め、資質能力の向上・学ぶ意欲の醸成を図ります。
- (4) 浅間中生のよさを受け継ぎ、様々な課題を仲間とともに乗り越える力を育みます。

保護者・地域と連携し、教育効果を高めます

- 浅間中学生らしいさわやかな挨拶・態度を地域とともにはぐくみます。
- 浅間中学校区における地域の教育力をいかし、人間力の向上を目指します。
- 学校評価等、保護者の皆様の意見を踏まえた学校づくりを推進します。

地域の未来を拓く人材育成

生徒の生きる力と自立する力を育み、誰もが安心して学校生活を送ることのできる集団づくりを、全職員が心をひとつに行います

学級づくり 生徒同士、生徒と教職員のコミュニケーションを大切に、互いに認め励まし合える学級をつくります。

学年づくり 学年生徒会や学年集会、学年行事等を通して学級の枠を超えた仲間との交流を深めていきます。また学年職員が学年全体を指導する体制をつくります。

生徒会活動 生徒による自治の力でよりよい学校生活を創造します。

- あいさつ運動を通して、あいさつがとびかう明るい学校をめざします。
- 清掃に打ち込み、校舎を磨くことで、自分自身の心も磨く清掃をします。
- 日常生活の活動をより充実させ、全校が気持ちの良い学校生活を送り、地域に誇れる浅間中を創り上げます。
- 熱く燃える「第51回浅岳祭」を実現します。

部活動 生徒の自主的参加による活動を通して豊かな人間性を育みます。

- あいさつ・礼儀を大切に、感謝の気持ちをもって活動します。
- 学校生活のルールや時間を守り、けじめのある活動にします。
- 生徒の興味や関心に応じた主体性と、多くの仲間との切磋琢磨により、活気ある集団づくりをすすめます。



I 令和4年度－令和5年度人事異動名簿（五十音順）

1 令和4年度末転退任職員

No	氏 名	異動先等	No	氏 名	異動先等
1		小海町北相木村南相木村中学校組合立小海中学校	11		千曲市立戸倉上山田中学校
2		佐久市立浅科中学校	12		退職
3		小諸市立芦原中学校	13		定年退職
4		佐久市立平根小学校	14		佐久市立野沢中学校
5		佐久市立臼田小学校	15		上田市立西内小学校
6		佐久市立中込中学校	16		長野県野沢南高等学校
7		退職	17		退職
8		東御市立北御牧中学校	18		小諸市立小諸東中学校
9		長野市立川中島中学校	19		御代田町立御代田中学校
10		小諸市立芦原中学校			

2 令和5年度新任職員

No	氏 名	前任校等	No	氏 名	前任校等
1		佐久市立野沢中学校	11		新規採用
2		佐久市立野沢中学校	12		長野市立豊野中学校
3		長野市教育委員会	13		安曇野市立豊科北中学校（新規採用）
4		佐久市立浅科中学校	14		佐久市立岩村田小学校
5		長野県立小諸養護学校	15		松本市立松島中学校
6		立科町立立科中学校	16		飯山市立城南中学校（新規採用）
7		佐久市立浅科小学校	17		長野市立裾花小学校
8		長野県大町岳陽高校	18		御代田町立御代田南小学校
9		伊那市立伊那中学校	19		佐久市立田口小学校
10		佐久市立臼田中学校	20		信州大学附属長野中学校

II 学級編制及び在籍生徒数

（令和6年3月15日現在）

学 年		1 学年	2 学年	3 学年	9 組	10 組	11 組	12 組	13 組	合 計
学級数		8	7	7	1	1	1	1	1	2 7
生徒数	男	1 3 8	1 1 6	1 2 7	6	6	3	6	5	4 0 7
	女	1 4 1	1 1 4	1 1 8	2	2	4	2	3	3 8 6
	計	2 7 9	2 3 0	2 4 5	8	8	7	8	8	7 9 3

Ⅲ 教育活動の取り組み

1 学校目標

「情操高く 知は深く」

【重点】 キーワード ～豊かな個性を育むあたたかな関係性～

- (1) 多様性を認め合い、共に支え合いながら自他を尊重した人間関係を構築し、安心・共生の学校づくりをめざす。
- (2) インクルーシブの視点を踏まえた学級づくり、授業づくりにより、どの生徒にも居場所がある活気ある学校生活をめざす。
- (3) 授業や単元（題材）のねらいを大切にした指導とその評価による資質能力の向上・学ぶ意欲の醸成を図る。
- (4) 浅間中学生のよさを受け継ぎ、様々な課題を仲間とともに乗り越える力を育む。

2 目指す学校像

(1) 目指す生徒像

- 誇り高く 浅間中学生…多様性を認め合い、思いやり、感謝の気持ちをもてる生徒
- 熱く燃える 浅間中学生…学習・生徒会・部活動に精一杯、全力で取り組める生徒
- 美しき 浅間中学生…はじめある行動・元気よくあいさつができる生徒、清掃に打ち込める生徒

(2) 学校教育目標実現のために

- 「学びづくり」
個別最適な学びと、協働的な学びを大切に、主体的・対話的で深い学びの実現をめざす。
- 「集団づくり」
生徒の生きる力と自立する力を育み、誰もが安心して学校生活を送ることのできる集団づくりを、全職員が心をひとつにして行う。
- 「地域の未来を拓く人材育成」
保護者・地域と連携し、教育効果を高める。

3 学習指導・生徒指導

(1) 学習指導

①全校研究テーマ

自分の学びや学び方のよさに気づく授業づくり

<本年度の重点>

生徒が創意工夫、試行錯誤しながら「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善

②授業改善への取り組み

- 生徒一人ひとりが自分の学びや学び方のよさに気づく学習活動を位置づける。
 - ・生徒が主役となる、生徒自身の「疑問」や「問い」からのスタート。
 - ・自分自身や仲間との対話ができる授業展開。
 - ・自分や仲間の考えのよさを可視化し共有できる場面設定（ICTの活用等を含む）。
 - ・自分の学びや学び方のよさに気づき、新たな「疑問」や「問い」を見つける振り返り。
- 自分の学び方が発揮できる学習環境を整える。
 - ・生徒がワクワクしながら追究できる教師のかかわり。
 - ・個や集団の学習場面で、課題解決に向かうことのできる教材・教具の工夫。
 - ・「わからない」「教えて」をお互いに出し合い、共に解決し合える環境づくり。
- 今と将来の生活が充実していくために必要なことを探究できる浅間の時間（総合的な学習の時間）の展開。

- 生徒の学びと学び方を支えるために ICT 機器、拡大教材、デイジー教科書などの支援を充実。
- 授業改善につながる職員研修および授業参観の授業を公開授業として、教職員がお互いに授業を見合い、学び合う授業改善。



仲間や教師との対話により学びを深めていく生徒



ICT の活用により、自分や仲間の考えを可視化する授業



これまでの探究について、保護者や地域の方から助言をもらう総合的な学習の時間

今年度実施した研究授業や指導者を派遣して実施した研修等

期 日	教科等	授業者	学 級	指導者	備 考
5 月 9 日	数学		1 年 6 組		初任者授業向上研修 提案授業
6 月 23 日	道徳		2 年 3 組		教育課程研究協議会 事前研究会
9 月 14 日	数学		2 年 7 組		単元訪問 (授業づくり研修)
9 月 19 日	国語		1 年 2 組		単元訪問 (授業づくり研修)
10 月 18 日	道徳		2 年 3 組		教育課程研究協議会 研究授業
10 月 31 日	英語		1 年 3 組		単元訪問 (授業づくり研修)
11 月 15 日	保健体育		2 年 6 組		学事職員会
1 月 17 日	理科		1 年 6 組		初任者研修
1 月 24 日	数学		2 年 4 組		初任者研修

(2) 生徒支援

①生徒支援の立場に立った相談活動の充実

スクールカウンセラー、スクール・メンタル・アドバイザーの相談活動が定着し、週に 1～2 回の相談日を設けることができ、生徒や保護者のみなさんの相談要請に応えることができた。相談室へ寄って胸の内を話していく生徒や継続的に関わっている保護者もあり、じっくり話を聞いたり、他機関等へつなげたりすることを通し、相談者の心情に寄り添った活動を行ってきた。

また、一人ひとりの生徒に「目をかけ、手をかけ、声をかけ」を日々全ての教師が実践していくことを心がけ、学級担任だけでなく養護教諭や管理職も聴き手となれるよう相談窓口を設置し周知を図ってきた。

職員会議では、生徒理解の時間を毎回設け、各学年や教科等で配慮を要する生徒の情報交換・

共有を行っている。生徒指導の母体となる各学年では、生徒の様子と今後の支援について話し合い、学年職員が協力して一人ひとりに寄り添って課題や問題が解決できるよう、担任を中心に学年体制での指導を心がけた。

さらに、教室に入りにくい生徒や人間関係に悩みを抱えている生徒のために、不登校・不適応支援係を中心とした第一学習室（校内中間教室）での学習・生活指導、保健室での養護教諭2人体制での指導等を行い、不安や悩みを抱えている生徒の気持ちを大切に支援に努めた。今年度は2ヶ月に1回開催している「つぼみの会」に加え、隔月で「サブつぼみの会」を開催し、学校に行きづらさを感じる生徒やその保護者との連携を図ってきた。

②部活動 ～生徒の自主的参加による活動を通して豊かな人間性を育む～

- あいさつ・礼儀を大切にし、感謝の気持ちをもって活動に取り組む。
- 学校生活のルールや時間を守り、けじめのある活動を大切にする。
- 生徒の興味や関心に応じた主体性と、多くの仲間との切磋琢磨により、活気ある集団づくりをすすめる。



東信予選(球技・水泳)壮行会

(3) 人権感覚を育てる人権同和教育の実践

日々の教育活動を通しての人権同和教育はもとより、改めて自分の考えを問い直す良い機会として5月と10月に人権教育旬間を設けている。人間として尊重される権利や、無意識に持っている偏見や思い込みなど、校長講話や各学年の実態に合わせたテーマを設定し、生徒同士が対話の中で人権感覚を磨き合うことができる授業づくりを行っている。

また年々、生徒にとってSNSが身近な存在となり、インターネット上におけるSNS使用における差別や偏見、誹謗中傷による人権侵害については、重大な人権課題となっている。今年度はインターネットの人権に関わる講演会などを4回実施し、生徒の人権感覚を育んできた。

4 今年度の新たな取り組み

今年度より「学びの改革パイオニア校」として浅間中学校区5校（岩村田小、佐久平浅間小、高瀬小、中佐都小）が連携しながら、教科指導や総合的な学習の時間の探究化や「学び」の意識改革に取り組んできた。また、生徒や保護者の声を聞く場として「ランチミーティング」を実施したり、開かれた学校を目指してYouTube配信による校長講話やHPの更新を行ったりしてきた。



5校連携推進会議



「私たちの学びを考えるパネルディスカッション」



生徒との「ランチミーティング」

5 生徒会活動の取り組み

生徒会スローガン「超越～限界を超え、さらなる高みへ～」を掲げ、生徒による自治の力でよりよい学校生活を創造するため、以下のことを大切に取り組んできた。

- ・あいさつ運動を通して、あいさつがとびかう明るい学校をめざす。
- ・清掃に打ち込み、校舎を磨くことで、自分自身の心も磨く清掃をめざす。
- ・日常生活の活動をより充実させ、全校が気持ちのよい学校生活を送り、地域に誇れる浅間中を創り上げる。
- ・日頃の学びの成果を伝える場としての「第 51 回浅岳祭」の実施。



生徒総会の様子



生徒昇降口に設置されたスローガンボード



吹奏楽部・演劇部のステージ発表（第 51 回浅岳祭）

IV 施設設備・学習環境

1 花や緑にかかわる環境整備

- 各教室、生徒・職員玄関、体育館周りにプランターの配置を計画的に行っている。

2 校内環境の整備

- 階段の踊り場やトイレ等に植物を置く（美化委員会）、廊下への生徒作品および行事写真等の展示・掲示、部活動での活躍の様子・賞状の掲示など各係で取り組んでいる。

3 地域の清掃活動・花壇づくり

- 平成 24 年度より地域の方々に潤いをお届けすることを目指し、信州ふるさと道ふれあい事業に参加し、長野県と協定を結んだアダプトシステム活動として地域の美化に貢献している。体育館北から浅間中西交差点までの間の花壇作りを継続している。



生徒作品の展示



美化委員による花壇づくりの様子

V 令和5年度の活動の歩み

4月	6日	入学式 新生 男子 146 名 女子 149 名 計 295 名
	6日	1 学期始業式
	7日	3 年進級テスト
	10日	交通安全教室
	12日	避難訓練
	14日	防犯教室
	18日	全国学力・学習状況調査
	20日～22日	修学旅行（3 年）
	20日～26日	家庭訪問（1・2 年）
	28日	第1回授業参観、PTA総会
5月	15日	授業参観・部活動参観 部活動運営委員会①
	19日	1 学期中間テスト（1・2 年） 復習テスト①（3 年）
	22日～	人権教育旬間
	23日	第1回生徒総会
6月	3日	東信陸上大会
	10日～25日	（土・日）中体連東信大会
	15日	第2回授業参観日 第1回学校評議員会
7月	1日・2日	県中総体（陸上）
	4日	1 学期期末テスト②（1・2 年） 復習テスト（3 年）
	8日・9日	県中総体（剣道・ソフトテニス）
	15日～23日	県中総体・吹奏楽東信大会
	25日	1 学期終業式
	26日～27日	妙高校外学習（1 年）
	26日～31日	三者懇談（3 年）
	29日	PTA奉仕作業
	31日	合唱東信大会
8月	1日～4日	中体連北信越大会
	5日	吹奏楽県大会
	22日	2 学期始業式
	23日	総合テスト①（3 年）
	28日～31日	アルミ缶回収

9月	1日	避難訓練②
	15日	総合テスト②
	29日・30日	第51回浅岳祭
10月	7日	県マーチングコンテスト
	11日・12日	2 学期中間テスト（1・2 年） 総合テスト③（3 年）
	14日	東海マーチングコンテスト
	18日	佐久地区教育課程研究協議会
	19日	部活動運営委員会②
	24・25日	職業体験学習（2 年） 地域めぐり（1 年）
	30日～11/10日	人権教育旬間
11月	2日	学校評議員会②
	6日	音楽鑑賞会
	7日	第3回授業参観日
	16日	生徒会立会演説会・投票
	21日・22日	2 学期期末テスト（1・2 年） 総合テスト④（3 年）
12月	7日～15日	保護者懇談会
	21日	第2回生徒総会
	27日	2 学期終業式
1月	9日	3 学期始業式
	10日	総合テスト⑤（3 年）
	22日	3 年授業参観 第3回学校評議員会
	23日	浅間中学校入学生保護者説明会
	30日	総合テスト⑥（3 年）
2月	8日・9日	3 学期期末テスト（1・2 年）
	15日	1・2 年授業参観
3月	6日	学年行事（1・2 年）
	12日	3 年生を送る会
	15日	3 学期終業式
	18日	卒業証書授与式 卒業生 男子 135 名 女子 123 名 計 258 名